耶優秀 髝 訪志賞

生きている今も歴史の瞬間を

河添恵子の歳かれて、東京の中共に迎合したマスメディアの死

一般社団法人美し国 なでしこオピニオンの会 顧問新しい歴史教科書をつくる会元理事・元女子部共同代表株式会社ケイ・ユニバーサルプランニング 代表取締役ノンフィクション作家



女王のお言葉で「ゴングが鳴った_

の90歳をお祝いする園遊会での、このお言葉だった。それは2016年5月、バッキンガム宮殿で催されたエリザベス女王

「(習近平一行は)とても非礼だった」

時代は、いい加減おしまいですよ」との叱咤激励だったのではないか。して米国などに対し「中国共産党(中共)の〝赤い工作〟に溺れている図的に発信したのだと直感した。その真意は、英国のみならず英連邦そが、BBCによって世界に報じられた。世界から敬愛される女王が、意振る舞いについて、ロンドン警視庁の女性警視長と女王が交わした会話振る舞いについて、ロンドン警視庁の女性警視長と女王が交わした会話

がりも甚だしい」と反撃した。
ま実、その直後の5月下旬の伊勢志摩サミット(主要国首脳会議)では、事実、その直後の5月下旬の伊勢志摩サミット(主要国首脳会議)では、事実、その直後の5月下旬の伊勢志摩サミット(主要国首脳会議)では、

想、で、英国に乗り込んだのだった。

世界を牛耳る。世界皇帝はオレ様だ」という新旧交代儀式のような、妄を示した。すなわち「大英帝国は没落した。21世紀は偉大なる中華帝国があった」「英国による民主主義の講義は受け付けない」との強い姿勢があった」「英国による民主主義の講義は受け付けない」との強い姿勢

ット」の支援者でもあることから、中共にとっても忌々しい存在なのだ。い関係にある。中共政府による人権弾圧に抗議する団体「フリー・チベマ法王14世を自宅に招き、カミラ夫人と歓待するなど長期にわたる親し共嫌い」は知る人ぞ知る。皇太子はチベット仏教最高指導者ダライ・ラ共のいる。2008年8月に開催された北京五輪も欠席。「皇太子の中している。2008年8月に開催された北京五輪も欠席。「皇太子の中している。

共産主義革命を警戒する英王室

ら警戒する理由は、この1世紀の歴史を知れば十分に想像がつく。を見ている」とも。王位継承1位のチャールズ皇太子が、中共を心底かそして「英王室は1年先、5年先のことではなく、50年先、100年先英王室を研究する識者は一言、「英王室はサバイブの歴史」と言う。

チャールズ皇太子の曽祖父に当たる英国王ジョージ5世(1865-

ボリシェビキ政権によって幽閉され、翌年7月に全員が殺害され たちは1917年11月のロシア革命後、 た。 ・936)とロシアのロマノフ朝第14代皇帝ニコライ2世 9 1 8 しかしながら、 は、 母方のいとこ同士だ。容姿も似た2人は親しい関係にあ ニコライ2世とアレクサンドラ皇后、 ウラジーミル・レーニン率いる 1868 8 5人の子供

命の恐ろしさ」である。 -命1世代を信奉している。 不人気では王室の存続が難しくなる」こと。もう1つは 英王室はニコライ2世を反面教師に2つ学んだとされる。「民心が離 暴力革命を主張したボリシェビキから指導を受けた毛沢東ら 「偉大なる中華民族の復興」を唱えた習政権の 「共産主義革

流 『の軍隊建設に努力していく』と演説した。 ていく」「中国の特色ある強軍建設の道を歩むことを堅持し、 逃れられない歴史的責任だ」「人類運命共同体を不断に推進し共に築 指導的地位を堅持し、実践を基礎として理論の創新を不断に推進して 2018年12月の改革開放40周年の式典で、 21世紀のマルクス主義を発展させることは、 習主席は「マルクス主義 現代の中国共産党員 世界一

を脅かす者として中共を敵視し、戦友としてダライ・ラマ法王との良好 いでもある。 な関係を保ってきたとも考えられる。ロマノフ朝は 王室が警戒しないわけがない。すなわち、チャールズ皇太子は国王の座 中南海のマルキストらは「北京が世界を支配する世界」を目指してお 暴力革命=武力による革命も厭わない特異な性質を持っている。英 チベットの歴史が「14世」で絶えることを是が非でも阻止する戦 「第14代」で終焉し

21世紀の「鉄のカーテン」

念も噴出した。 た。イタリアの てとなる一一 習主席は昨年3月、 帯一 しかもその際、 「親中政策」 路 ローマを訪問し先進7ヵ国 構想の覚書をジュゼッペ・コンテ首相と交わし は アジアから欧州を結ぶ「一 「欧州の分断を助長しかねない」との懸 (G7) との間では 帯一路」 0 海 初

> に関する覚書」を締結したのだ。 国交通建設集団と北東部トリエステの港湾局が 「海のシルクロード」の終点となる港湾開発を目的に、 「港の鉄道インフラ整備 中国国· 有の中

路

受け、 由港」だ。 大戦後にイタリアに併合。第二次世界大戦後はユーゴスラビアの支配を 北イタリアの東のつけ根にある港街トリエステは、 1954年にイタリアに復帰する。 20世紀初めまでハプスブルク家の支配下にあり、 アドリア海の 第一 次世界 自

英国 ハリー・トルーマン米大統領に招かれ訪米し、 (ミズーリ州)で行った演説のなかで出た地名だったからだ。 習主席が狙ったこのトリエステという「地名」に、私は強く反応した。 .のウィンストン・チャーチルが首相を退任後の1946年3月に、 ウェストミンスター

全てその向こうにある」 大陸を横切る鉄のカーテンが降ろされた。中欧と東欧の歴史ある首都は、 「バルト海のシュテッティンからアドリア海のトリエステまで、 欧州

じ込めたのだ。 網やコンクリー られた。以降、 「鉄のカーテン」として有名になったこの演説から、 40年以上もソ連と西側諸国が対立した。 ト製の壁などの障壁を造り、 ″恐怖の中′ 東欧諸国は鉄 冷戦の火蓋が切 に自国民を閉

ことにちなんでいる。 シと音を立てて下ろされ、 1918年の著作『われらの時代の黙示録』 「鉄のカーテン」との表現は、 ロシアの歴史にも幕が下ろされた」と書いた ロシアの作家バシリー で 「鉄のカーテンがギシギ 口 ザ · ノフが

٠ ر 帝国、 取しに行った習主席は、 移行しようとしていることは明らかだった。「トリエステの港」を奪 中共政府は、史実をパクリながら「一 すなわち北京が勝利に王手をかける時が来たと意気込んだのだろ 20世紀に消滅したソ連ではなく、 帯 一路」との表現で「オレの時代」 21世紀に中華

産主義の真の恐ろしさ、 忘れているはずがない。 英王室のみならず西側諸国のエスタブリッシュメントが、 しかしながら、 、猛毒、を理解していないようだ。 日本の政官財マスメディアは共 何より国 この史実を

の。死んだり、国境が変わったり、国体が大きく変わったりしているのだか死んだり、国境が変わったり、国体が大きく変わったりしているのだか世界において、国家は生き物に過ぎない。史実を紐解けば、生まれたり、そして国体が未来永劫続く、と考えるのは大きな間違いだ。弱肉強食の

戦争の火蓋が切られた

「ロシア革命から100年(2017年)」「中国共産党の結党100年(2021年)」というなかでの、この数年の米国はじめ西側社会の年(2021年)」というなかでの、この数年の米国はじめ西側社会のアイズ(米国・英国・カナダ・豪州・ニュージーランド)との間で熾アを、赤く、染めてきた中共スパイとの攻防が、情報諜報機関のファイ界を、赤く、染めてきた中共スパイとの攻防が、情報諜報機関のファイ界を、赤く、染めてきた中共スパイとの攻防が、情報諜報機関のファイスに、東京五輪の開催直前あたりに、サイバー空間を主戦場に何か恐然化し、東京五輪の開催直前あたりに、サイバー空間を主戦場に何か恐ろしいことが起きるのではないかと身構えたのだ。

継者」との揶揄も始まっていた。 「1984年』に登場する理由はなかった。「習近平はスターリンの後 下側社会がもはや放置する独裁者、ビッグ・ブラザー、に近づく習体制を、 1949年に発表した、全体主義的ディストピアの世界を描いた小説 ているのは疑う余地もなかった。英国の作家ジョージ・オーウェルが 中共政府が、AI(人口知能)を駆使した監視社会の覇者を目指し

たい」との電話が入った。日本時代の1930年に台北で生まれたトゥ よって火蓋が切られた。それが天然なのか人工 本は大変なことになる」と焦った。 スによる初の新型肺炎患者が報告されてから、 などの重要指示を出したのは1月20日だった。武漢で新型コロナウイル 論じる以前に、 ラド州立大学名誉教授のアンソニー・トゥー ただ、戦争はサイバー空間ではなく、 旧正月 習主席が「感染蔓延の断固阻止」や「社会安定の維持」 (春節) のシーズンで中国から人の往来が激増する日 1月末日、 武漢発・新型コロナウイルスに 50日ほどを経ていた。 知人から「台湾出身でコ (生物兵器?) なのかを (杜祖健) 博士を紹介し

察に指導した方である。連のサリン事件では、「土の中からサリンを検出する方法」を日本の警連のサリン事件では、「土の中からサリンを検出する方法」を日本の警器に関する相談役を長年にわたり務めた。また、オウム真理教による一串士の専門はヘビ毒などの天然毒で、現役時代は米政府や軍の生物兵ー博士の専門はヘビ毒などの天然毒で、現役時代は米政府や軍の生物兵

飛躍的に上がった。 「はじめまして」と、カリフォルニア在住のトゥー博士から先にメー 「はじめまして」と、カリフォルニア在住のトゥー博士から先にメー 「はじめまして」と、カリフォルニア在住のトゥー博士から先にメー

私はこの頃、大枠で3つの仮説をたてた。

- 武漢のウイルス研究所から空気のように周辺地域に漏れた。器研究所から炭疽菌が漏れた事件と同様、人工的なコロナウイルスが、(1)1979年にソ連で起きた事件――スヴェルドロフスクの生物兵
- つっていった。モリ?)が転売され、市場で食べたり、触ったりしたことからヒトにう(2)人工的に操作された、コロナウイルスに侵された実験動物(コウ
- ナウイルスの扱いをミスって患者 0 (ゼロ)号になった。(3) ウイルス研究所の研究員が、実験室で人工的に操作していたコロ

か?」との疑念すら沸いていた。

ない、「中国当局はこの武漢ウイルスを積極的に使っているのではないを、「中国当局はこの武漢ウイルスを積極的に使っているのではないを、「天災ではなく人災)」と結論づけ、経験値の高いトゥー博士とのやり取のがらも、「生物兵器の類ではないか?」と推測した。いつしか私の脳裏のからも、「生物兵器の類ではないか?」とかう、物語、を疑い、習政感染し、ヒトからヒトへうつっていった」という、物語、を疑い、習政感染し、ヒトからヒトへうつっていった」という、物語、を疑い、習政感染し、ヒトからヒトへうつっていった」という、物語、を疑い、習政感染し、ヒトからヒトへうつっていった」という。

長の言動は、まるで「習近平の代理人」だった。挙句は〝呼称〟である。それにしても、WHO(世界保健機関)のテドロス・アダノム事務局

広がったことを、 新型コロナウイルスが引き起こす疾病は「COVID(コビッド) (Corona Virus Disease, 2019)」と名づけられた。 「歴史に残さない」 ための方策なのだろう。 中国武漢から世界に | 19

ジャーナリズムは中共の手足に

なかった。 スの正体についての議論は、完全タブーを決め込んでい 日本人を殺す気なのか」と愕然とした。 識までスルーする、 新型コロ いつものことながら日本のマスメディアに何ら期待はしてい ナウイル 世界から刻一刻と出てくる情報、 「報じない自由」に徹する姿勢に「中共と手を携え ス関連の情報収集のために、 習政権の隠蔽体質と武漢ウイル 大半の時間を費やして 科学者・専門家の見

るネットTV「林原チャンネル」で独占対談を行うことができた。 も多くにこの歴史的な瞬間を届けたい。使命感にも似たそんな気持ちだ 同時に、世界がどのように今、動いているのか、そのことを含め1人で た。反比例するように、私のやる気は加速した。コロナの正体の追究と た。 3月に来日したトゥー博士とは、 「本の中枢が、 ジャーナリズムは死に、 中共の手足に成り下がっていることをあらためて痛感し 政治、 国会もまともに機能していない……。 自身がレギュラーで出演してい

も多くの命が助かるのか? ントで人を暗殺できるか? 究する類 々**、** 研究に邁進している。だが、その逆で、「いかに上手くピンポイ 生命に対して真摯かつ純粋な学者たちは 研究開発を指示する支配者 大量に絶滅させられるか」について熱心に 無駄死を避けられるのか?」などと考え (国家) は存在する。 「どうやったら1人で

残念ながら、 すなわち恐怖の兵器が地球上から全てなくなることを意味するのか? たとえ核兵器が地球上に存在しない時代が来たとして、 それはあり得ない。

い」と語った。 のヘンリー・ ポスト・ コロナという表現が流布されるなか、 キッシンジャー元国務長官は 欧州復興開発銀行の初代総裁で、 「今までの時代には戻らな 歴代フランス大統領の 1世紀近くを生きる米

> がある」と語っている。 秩序を完全に変えるだろう」「経済は全く新しい方向に設定し直す必要 ブレーンでもある欧州の超大物ジャック・アタリ氏も、 「コロナは 世界

これからの日本の在り方を考え、行動に移すべき時が来ている。 待しながら、 コロナという、灰色のトンネル、を抜けた先が 渇するとの話もあり、 流れは加速し「世界の工場」の終焉は決定的となった。 れている。 黄河流域や東北地方でも、 道は川と化し、8月中旬の発表では 峡ダムの周辺で大豪雨が続き、 『間』を書き残すことに誠心誠意、 我々は今こそ両目を見開き、 しかも、 脱中国共産党=脱 神の怒りなのか人災 武漢ウイルス、さらには未曾有の大洪水により 私はいちノンフィクション作家として、「今という歴史の 大量の餓死者が出るのではと懸念されている。 、赤い毒牙、の新生日本であることを心から期 未曾有の大型台風による甚大な被害が記録さ 戦時に突入したとの緊張感を持ちつつ、 長江流域の街のいたるところが水没し、 (気象兵器?:) なのか……。 邁進していきたい。 「6000万人ほどが避難」 「雪国」 でも氷河期でも 主食が半年で枯 「脱中国 中 国 という。 ポスト では三 0)

■発表済の内容

った!!」(WAC BUNKO 2020年7月 『習近平が隠蔽したコロナの正体 それは生物兵器だ

夕刊フジ んでいる 2019年12月 (2020年1月末以降の緊急連載 W A C 『覇権・監視国家 B U N K O) 雑誌 世界は $\overline{\overline{W}}$ i L L「習近平中 築 2020年6月号 国 の崩壊を望

参考資料 (ドキュメンタリー)

『ラスト ゚゚ハウス・オブ・ウィンザー ーリ:ロマノフ家の終焉』 イギリス王室の歩み』 (NETF (NETFLIX) L I X